

Ⅲ 市内伝統産業ブランド化等の実態調査

市内の伝統産業刃物、線香、注染・和晒に携わる事業所を対象にアンケート調査し、伝統産業刃物、線香、注染・和晒のブランド化等の現状、課題、今後の展望等について把握する。

1. 実態調査の方法

本調査では、市内の伝統産業刃物、線香、注染・和晒のブランド化等の実態を把握するため、事業所アンケート調査を実施した。

事業所アンケート調査の実施概要は、以下のとおりである。

(1) 事業所アンケート調査

①調査目的

市内の伝統産業刃物、線香、注染・和晒におけるブランド化等の現状、課題、今後の展望などを的確に把握するため、事業所の概要、ブランド化、後継者、情報発信などについて「伝統産業のブランド化等に関する実態調査」を実施した。

②調査対象

調査対象については、組合名簿、各種統計資料等から合計 116 事業所を抽出した。116 事業所の内訳は、以下の通りである。

- ・刃物：91 事業所
- ・線香：8 事業所
- ・注染・和晒：17 事業所

③調査方法

上記で抽出した調査対象事業所に郵送により調査票を配布し、郵送、ファクス及び電話による聞き取りにより回収した。

④調査期間

令和 3 年 11 月～12 月

⑤調査内容

調査における質問内容は、以下のとおりである。

- ・事業所概要（従業者数、代表者年齢、組合の加入状況、業務内容等）
- ・ブランド化
- ・後継者育成
- ・情報発信
- ・産業振興・活性化

⑥回収状況

発送、回収の状況は以下のとおりである。

- ・郵送数：116

- ・ 回答数：79（回収率：68%）
- ・ 有効回答数：79（有効回収率：68%）

2. 実態調査の結果

伝統産業の事業所を対象とした事業所アンケートの調査結果をもとに、伝統産業のブランド化等に関する実態調査の結果を整理した。